

リニューアル進む!! ~ 新加古川大橋改良・横断ボックス塗装が完了 ~

利用者の皆様から喜びの声届く

加古川バイパスは、平成12年に策定した「加古川バイパスリニューアル計画」に基づいて現在のバイパスを効率的に活用しながら、安全・快適で環境にもやさしいバイパスにリニューアルしているところです。

新加古川大橋（下り線）の改良で安全・便利に！

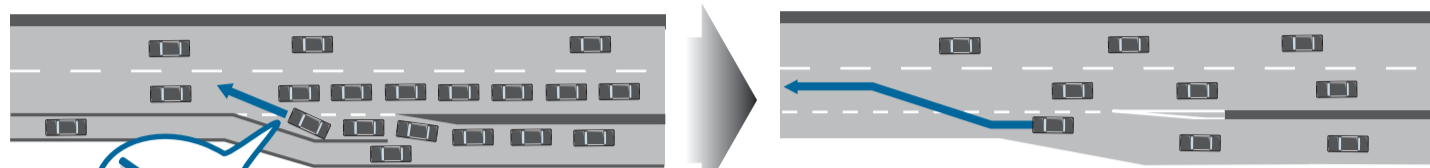
①本線への合流が安全になりました。

新加古川大橋の側道部分を本線の一部として活用する改良を行ったことにより、加古川ランプ入口(下り)から本線への合流区間が長くなり、より安全に合流できるようになりました。

◆本線合流時に停止する車両がなくなりました。

整備前: 18台/6時間

整備後: 0台/6時間



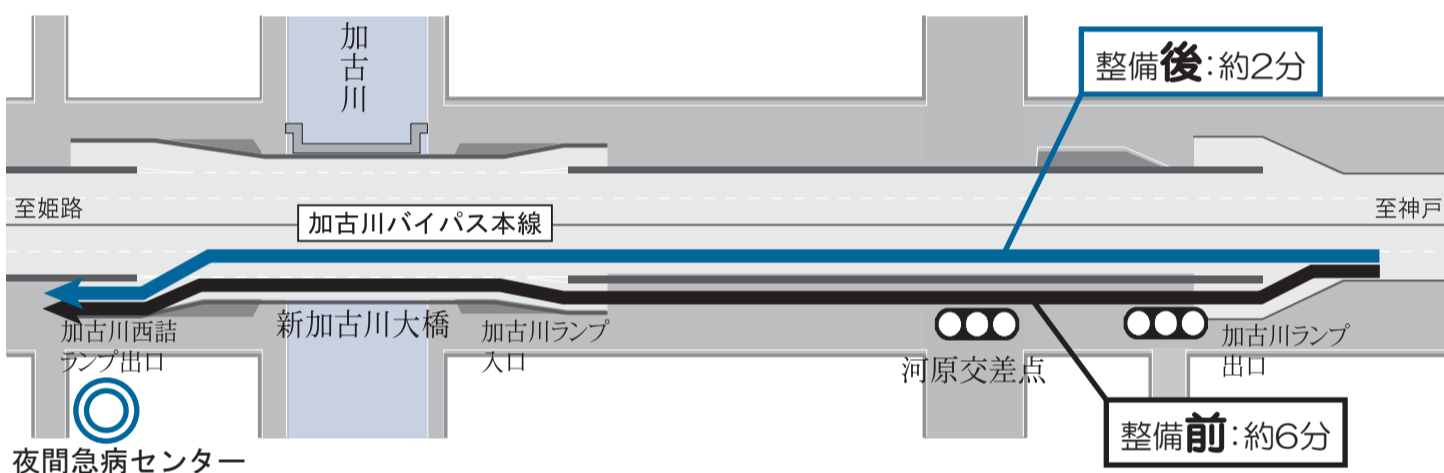
【皆様からのご意見】

- ヒヤリとする回数が少なくなった。(40代女性)
- 以前よりゆとりをもって合流できるようになった。(30代男性)

②加古川西岸地区へのアクセスが向上しました。

加古川西詰ランプが新設されたため、神戸方面から加古川西岸地区へのアクセスが向上しました。

◆加古川ランプ出口～夜間急病センター間の所要時間 約4分短縮



【皆様からのご意見】

- 便利になった。もっと早くやって欲しかった。(40代男性)
- 利用しやすくなった。今後も改善して欲しい。(20代女性)

整備前



整備後



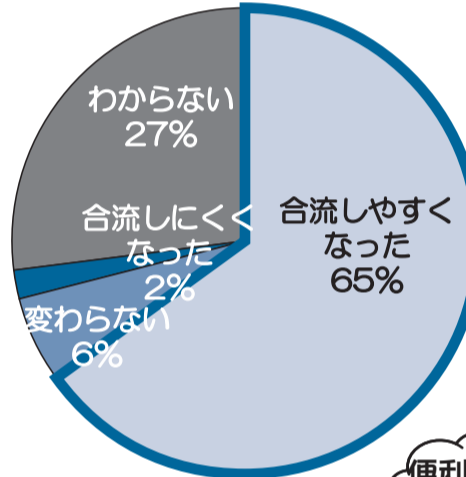
③利用者の皆さんも安全性や利便性の向上を実感されています。

新加古川大橋改良後の状況について、加古川バイパス周辺の小中学校の先生・父兄、商業施設利用者、タクシードライバーの方を対象にアンケート調査を行い、379名の方から回答を頂きました。

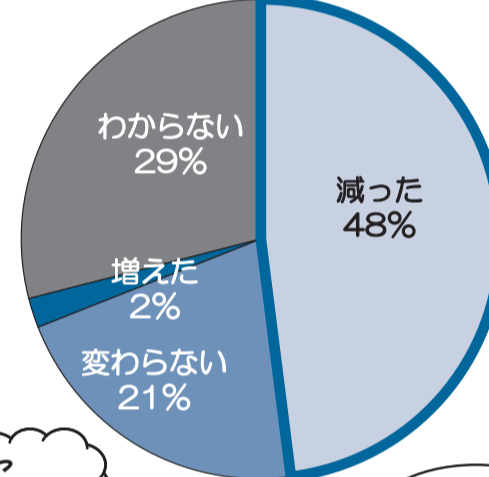
- 合流がしやすくなった(65%)
- ヒヤリとする回数が減った(48%)
- 以前より便利になった(61%)

など、多くの方から以前より良くなったとの回答を頂きました。

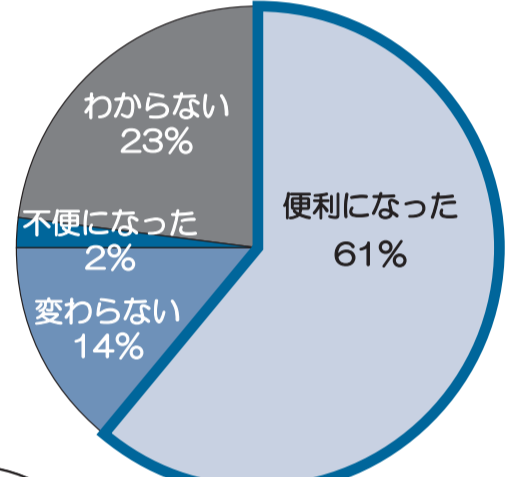
合流しやすくなったか?



ヒヤリとする回数は?



以前より便利になったか?

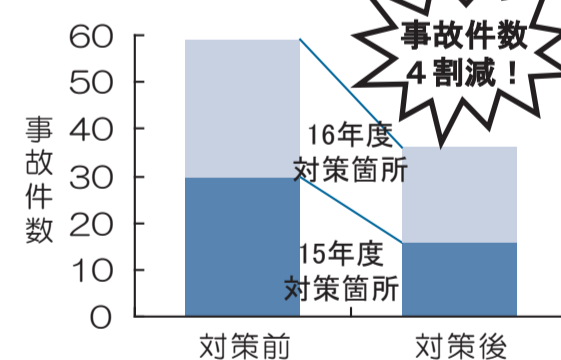


横断ボックスの塗装で交通事故が減少！

①少ない費用で効果的な対策ができました。

横断ボックス(穴門)の内壁を明るい色に塗装したことにより、車両からボックスの位置や歩行者が確認しやすくなり、対策前後で事故件数が4割減りました。

◆対策前後の事故件数



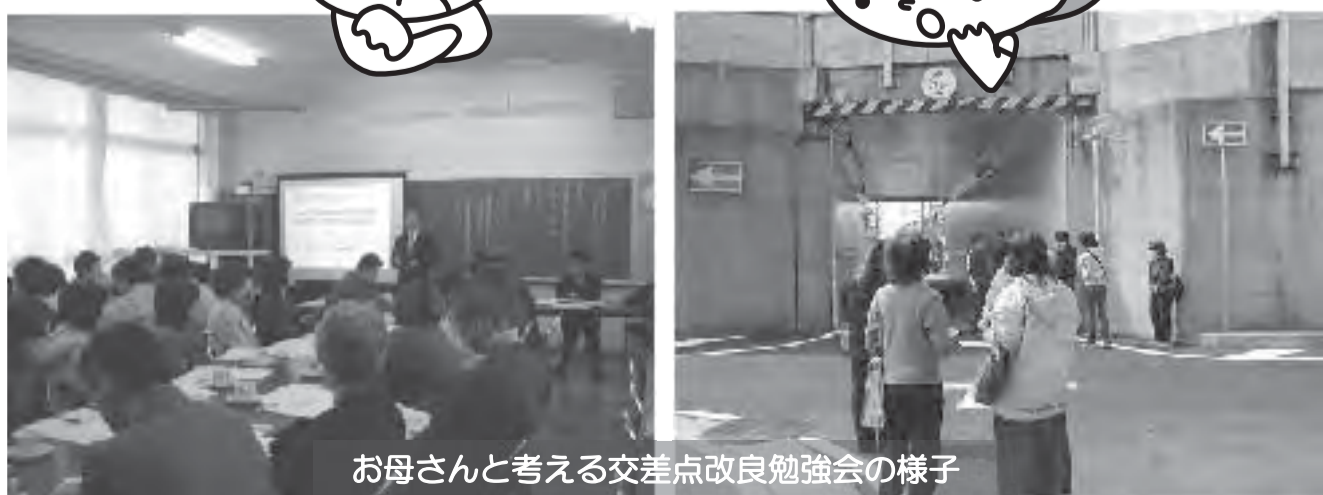
【皆様からのご意見】

- 穴門の存在が分かりやすくなったので、車や自転車が出てこないか注意を向けやすくなった。(30代男性)

②地域住民の皆さんと一緒に施策を考え、実施しました。

平成14年12月に「お母さんと考える交差点改良勉強会」(現「交通安全かんきの会」)を発足し、勉強会や現地検討会を3回実施しました。

勉強会では、「穴門内が暗い。」「側道から穴門の位置が確認しづらい。」という意見があり、横断ボックス(穴門)を塗装する案を提案しました。



お母さんと考える交差点改良勉強会の様子

塗り替え前



塗り替え後



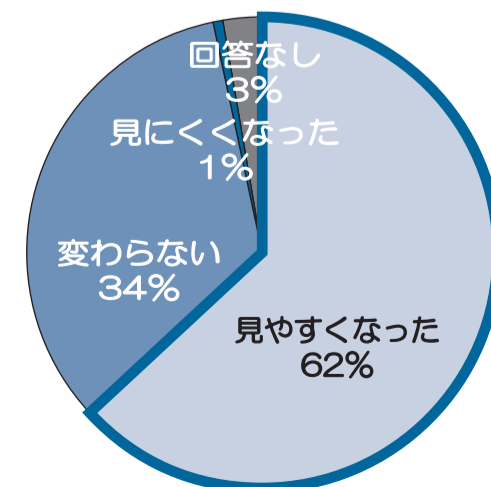
③利用者の皆さんからも喜ばれています。

横断ボックス(穴門)改良後の状況について、加古川バイパス周辺の小中学校の生徒・父兄・先生の方を対象にアンケート調査を行い、781名の方から回答を頂きました。

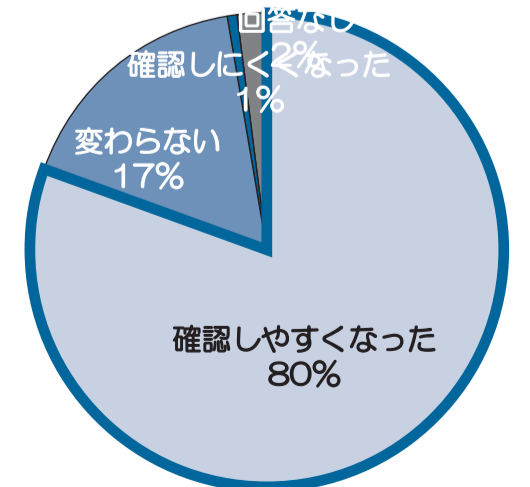
- 自動車から歩行者が見やすくなった(62%)
- 穴門の位置が確認しやすくなった(80%)

など、多くの方から以前より良くなったとの回答を頂きました。

色が変わって歩行者や自転車などが通行してくる見え方は?



色が変わって穴門のある位置の確認のしやすさは?

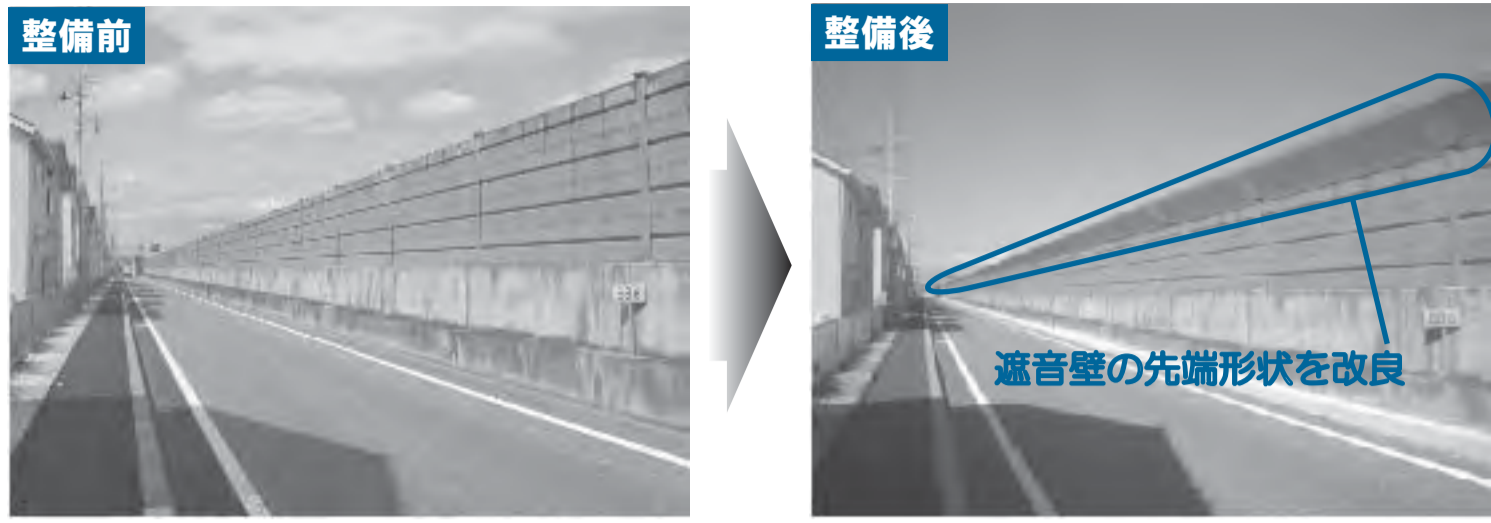


【皆様からのご意見】

- 色を塗ることで明るく気持ちよくなった。(40代女性)
- もう少し大きくして人と車の通る場所を分けたらもっと安全になる。(小学生)

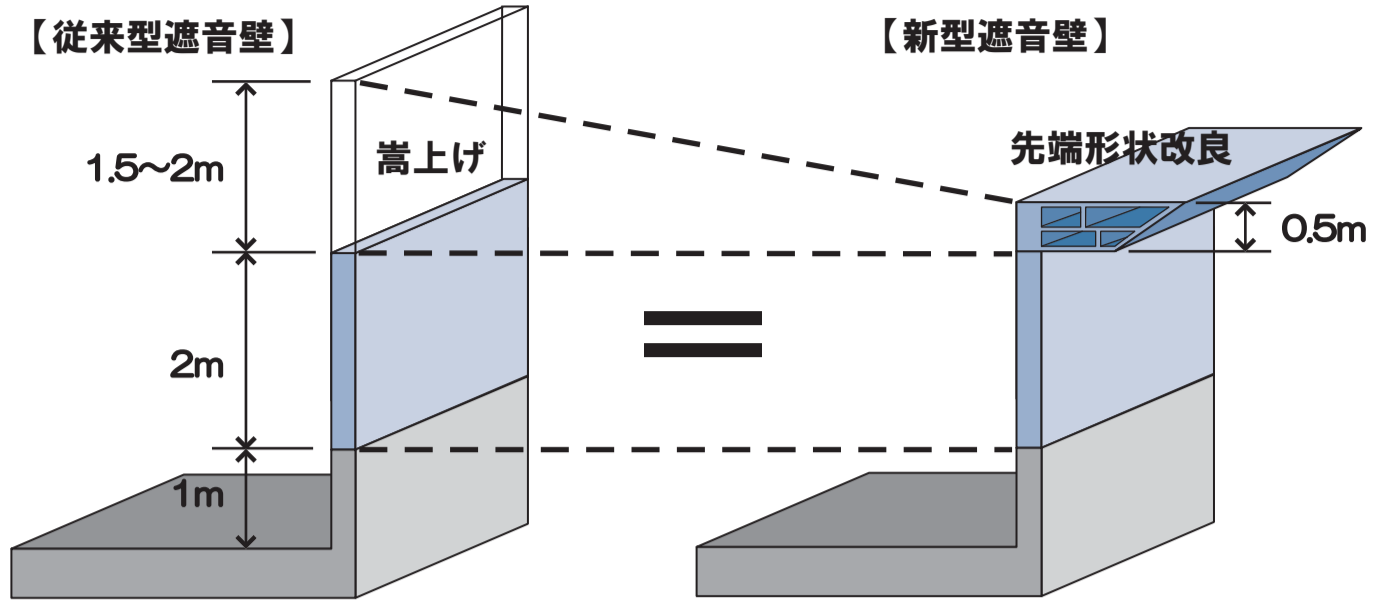
新在家地区・つつじ野地区の遮音壁改良が完成

平成19年度は、新在家地区とつつじ野地区の約3.3kmについて、既設の遮音壁を新型遮音壁に取り替えました。



◆新型遮音壁って？

遮音壁の高さを高くすると騒音の低減効果は向上しますが、一方で日照障害や電波障害といった問題が発生します。そこで、遮音壁の高さが従来型の遮音壁とほぼ同じで、遮音壁の先端の形状を工夫することにより騒音低減効果を高めた遮音壁を新型遮音壁と呼んでいます。



これからも住民の皆さんの声を聞きながら改良事業を進めます。

加古川バイパス全体図

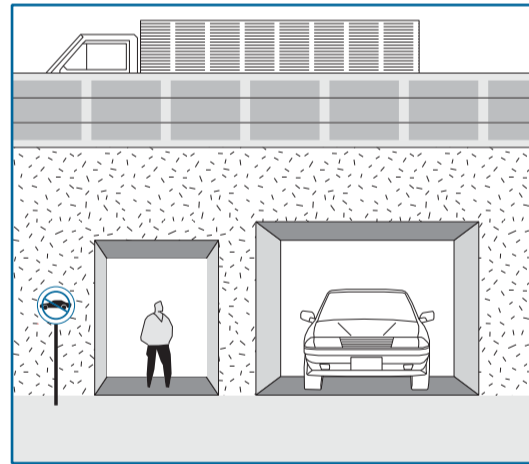


砂部ボックス改良

砂部ボックスでは、歩行者と自動車を分離させるために人道ボックスを新設します。この改良により、歩行者が安全に通行できるようになります。砂部ボックス改良は、平成21年度の完成を予定しています。



現在の砂部ボックス



人道ボックス新設

溝之口交差点改良

新たな南北の幹線道路として都市計画道路平野神野線が整備されることから、歩行者と自動車が安全に通行できるように、溝之口交差点のボックスの内空を拡げます。また、溝之口交差点のボックス改良と同時に加古川バイパスの勾配の改良も行い、加古川バイパス走行時の前方見通しが改善されます。



現在の溝之口交差点



内空拡大

加古川東ランプ遮音壁改良

加古川東ランプ付近では、騒音レベルのより一層の低減を目指して遮音壁を新たに設置したり、古くなった遮音壁を新しい遮音壁に取り替えています。加古川東ランプの遮音壁改良は、平成20年度の完成を予定しています。



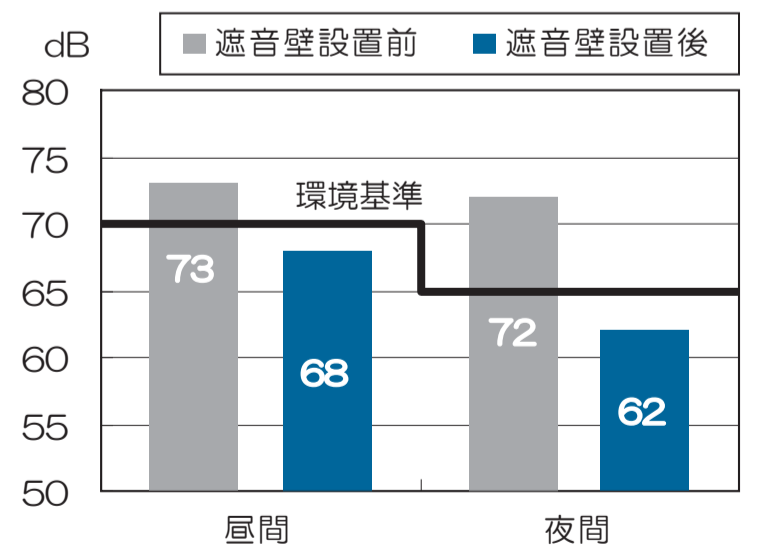
遮音壁を新たに設置する箇所



古くなった遮音壁

◆騒音対策による低減効果

遮音壁未設置区間に遮音壁を新設したことにより、騒音レベルが昼間で5dB、夜間で10dB減少し、環境基準を満足しました。



皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

今後の加古川バイパスリニューアル計画を進めるにあたっての参考にさせていただきますので、ご意見やご感想を下記へお寄せください。送付方法は、郵便の他、ファクシミリ、インターネットでも結構です。ご協力よろしくお願いします。

■加古川市建設部道路整備局道路建設課 ■兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所 ■国土交通省姫路河川国道事務所 調査第一課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000番地
(TEL) 079-421-2000 (FAX) 079-424-1374
(E-mail) douro@city.kakogawa.hyogo.jp

〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97-1
(TEL) 079-421-1101 (FAX) 079-421-0072
(E-mail) higashiharimakemminkyoku@pref.hyogo.lg.jp

〒670-0947 姫路市北条1丁目250番地
(TEL) 079-282-8211 (FAX) 079-222-5843
(ホームページ) 話そうはりま

話そうはりま

検索